

# 考古学研究会 岡山 6 月例会

## 受傷人骨からのアプローチ / 韓国の製鉄

2019 年 6 月 8 日(土) 14 時～16 時

岡山大学文・法・経講義棟 12 番教室 (岡山市北区津島中 1-1-1)  
資料代 300 円

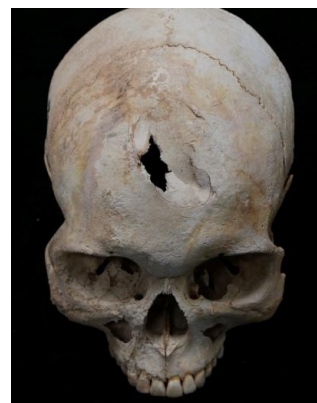


アクセス ▶

### ■報告 1

中川朋美 (岡山大学大学院生)  
先史時代における暴力

本発表では、縄文時代から弥生時代における受傷人骨の受傷状態を整理することで、まずは暴力の対象者などの受傷のパターンを明らかにする。さらに、受傷者の埋葬方法から暴力と階層性の関係性について検討する。

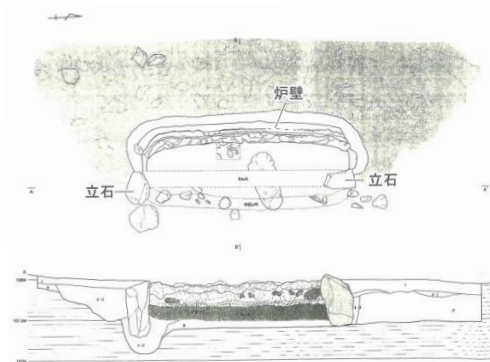


受傷人骨

### ■報告 2

角田徳幸  
(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター)  
韓国における砂鉄製錬

韓国における鉄生産は、鉍石製錬が主体であった。砂鉄製錬はこれを補完するように出現した。砂鉄は、竪形炉による鉍石製錬の技術を応用した竪形炉系箱形炉で製錬された。



韓国・隠谷遺跡製鉄炉

(『たたら吹製鉄の成立と展開』より転載)

※次回の岡山例会は、7/13 (土) 14:00～16:00  
岡山大学文化科学系総合研究棟 2 階共同研究室で開催予定です。

<問い合わせ>  
考古学研究会事務局  
〒700-0027 岡山県岡山市北区清心町 16-37 長井ビル 201  
TEL・FAX 086-255-7840  
okayama\_reikai@yahoo.co.jp (岡山例会アドレス)  
<https://kokogakukenyukai.jp/>